

プレスリリース

報道関係者各位

2022年2月15日
一般社団法人日本こども成育協会

～子どもの成育に関わる企業、識者、専門家そして保護者がともに考える～ 未来をになう子どもの成育環境を、研究し、社会実装を目指す「こども成育デザインプロジェクト」発足

一般社団法人日本こども成育協会（東京都中央区、代表理事：羽富 孝）は、2022年3月、コロナ後のニューノーマル時代において、子どもの理想的な成育環境を考え、創出することを目的とする「こども成育デザインプロジェクト」を発足いたします。



また、来る3月5日（土）には、本プロジェクトの発足を記念した第1回目となるフォーラム『こども 成育デザインフォーラム・2022』を開催いたします。リアルな体験よりもメディアやバーチャル体験が増えた子どもの成育環境について、専門家や企業の皆さまとともに考えてまいります。（詳細は別紙参照）

●「こども成育デザイン」とは

子どもは、自ら育ち、環境の中で育てられていきます。子どもを取り巻く「成育環境」にあるモノやコトをデザインすることを「こども成育デザイン」と本プロジェクトでは定義しています。

●「こども成育デザインプロジェクト」発足の背景

当協会では、『こどもひとりひとりがのびのびと育つ社会へ！』という理念のもと、保護者や教育関係者を対象に、発達心理学・口腔医学・保健学・栄養学など、子どもの成育環境を考える多種多様なコンテンツを開発・提供してきました。

コロナ禍において、マスクの着用、お友達との遊びの制限、オンラインでのコミュニケーションなど、様々な自粛や規制を強いられてきたこの2年間で、子どもたちを取り巻く成育環境は、大きく変化しました。この変化は、今後も元に戻ることなく、ニューノーマルとして継続するものと考えられます。当協会では、今こそが、「これからの子どもの成育環境はどうあるべきか？」を、改めて見つめ直し、様々な領域の専門家や実践家による多角的な知見を結集して、子どもの未来のために、より良い環境を創出するタイミングであると捉え、本プロジェクトを発足するに至りました。

●本プロジェクトについて

企業、行政、アカデミア、子育て支援の専門家らと「こども成育デザイン」の具現化に向けて、継続的に研究し考えるコミュニティをつくり、社会実装を目指します。座長は当協会理事であり、子どもの認知発達支援、視聴覚コンテンツ開発および幼児教育番組監修などに永年携わってきた、子どもの認知発達のスペシャリスト、沢井佳子（さわいよしこ）が務めます。

●今後の活動予定

- ・こども成育デザイン・ラボメンバーの募集/コミュニティ形成
- ・メンバーとの定期的なスタディミーティングの開催
- ・フォーラム開催（年1回程度）：シンポジウム形式のフォーラムを実施し、社会提言を行う

<一般社団法人日本子ども成育協会について>

発達心理学に基づいた「発達の段階が進むごとに出来ること」を目盛に据えた「こども発達スケール®」を開発。他者との比較や年齢基準ではなく、子どもの発達の現在地を観察し、子どもが育ちやすい成育環境を養育者・保育者とともに考える親支援の専門家を育成。子どもの発達のプログラムに基づいて、子どもを取り巻くモノやコトなどの質の向上を目指し、情報発信をはじめ、コンテンツや製品・サービスなどの監修を行う。

- ・団体名：一般社団法人日本こども成育協会
- ・代表理事：羽富 孝
- ・設立：2017年2月1日
- ・所在地：〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 1-3-6 AIC 共同ビル 3F
- ・URL：<https://www.kodomoseiiku.jp/>
- ・事業内容：
 1. こどもの成育に関する専門分野の資格認定活動
 2. セミナー・講座主催
 3. こどもの成育におけるアドバイス活動
 4. こどもの発達・成育における調査・分析
 5. こどもに携わる人・企業のコミュニティづくり

■本プレスリリースおよびフォーラムへのご取材に関するお問合せ先■

一般社団法人こども成育協会広報事務局 担当：村田知左

TEL：03-5623-4226(070-3875-5300) mail：murata@kodomoseiiku.jp

こども 成育デザインフォーラム・2022
『メディア・こども・成育デザイン』
開催概要

リアルでの触れ合いや体験をする機会が減り、メディアを通してのバーチャル体験が増える中、メディアや映像制作のトップランナーの方々と共に、「子どもたちはメディアを通して何を想像するのか?」「VR などの先端的メディアは、子どもの生活や学習をどう変えるのか?」という問いの解を探ってまいります。

日 時	2022年3月5日(土) 13:30~17:30 ※13:15 ZOOM オープン		
参加形式	・オンライン LIVE 配信 ・後日オンデマンド視聴	申込方法	Peatix にて 2月15日より 予約販売開始 URL : https://kodomoseiikudesign01.peatix.com
参加費	3,300円(税込) (オンライン/後日オンデマンド視聴ともに)		
プログラム			
第 1 部 13:30~	シンポジウム 『映像とバーチャルリアリティは子どもの想像力に何をもたらすか?』 3名のゲストによるテーマプレゼンテーションの後、提示されたテーマをディスカッションします。 <登壇者> 大西 隼 (おおにし はやと)氏: テレビ番組・映画プロデューサー、テレビマンユニオン取締役 熊坂 出 (くまさか いずる)氏: 映画監督 水野 拓宏 (みずの たくひろ)氏: VRコンテンツプロデューサー、株式会社アルファコード代表取締役 <モデレーター> 沢井佳子 (さわい よしこ): 一般社団法人日本こども成育協会理事、チャイルド・ラボ所長、 発達心理学・認知発達支援、視聴覚コンテンツ開発 <司会> 真鍋摩緒氏 (株) ママカラ代表・こども成育インストラクター		
第 2 部 15:45~	トークセッション 『それって“成育デザイン”? - サービスや製品に“成育デザイン”が宿ると社会基盤になる -』 1. 日本マクドナルド株式会社 「成育デザインの視点から考えるハッピーセットのおもちゃ開発」 小島 伸吾 氏 (マーケティング本部 ナショナルマーケティング部 マネージャー) 佐賀 貴 氏 (マーケティング本部 ナショナルマーケティング部 マネージャー) 2. カゴメ株式会社 「野菜を好きになる保育園ベジ・キッズ - 野菜栽培が保育にもたらす新しい可能性」 飛石 希氏 (経営企画室 経営企画グループ) <司会> クック井上.氏 料理芸人・こども成育インストラクター		
主 催	一般社団法人日本こども成育協会		
協 賛	日本マクドナルド株式会社	協力	株式会社 Patata

※プログラムのタイムスケジュールおよび登壇者は2月15日時点のものであり状況による変更の可能性があります。

●シンポジウム登壇者プロフィール（五十音順）

大西 隼(おおにし はやと Hayato ONISHI)

/テレビ番組・映画プロデューサー 株式会社テレビマンユニオン取締役

1980年生。NY・東京・神奈川で育つ。東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻修了（理学博士）。脳や神経の疾患の分子メカニズムなどを大学院で研究したのち、2008年からテレビマンユニオンに参加。ドキュメンタリーからドラマまで様々なジャンルの作品制作を行ってきた。代表例：TBS『世界ふしぎ発見!』、NHK：『地球タクシー』、『欲望の資本主義』、『奇跡のレッスン』、『アナザー・ストーリーズ』、『大心理学実験』、『ズームバック×オチアイ』。映画『プリテンダーズ』など。
<https://www.tvu.co.jp>



熊坂 出(くまさか いずる Izuru KUMASAKA) /映画監督

1975年、埼玉県浦和市生まれ。自主映画『珈琲とミルク』がぴあフィルムフェスティバル/PFFアワード2005にて、審査員特別賞ほかトリプル受賞。長編初監督作品『パークアンドラブホテル』(07)が、第58回ベルリン国際映画祭にて日本人初となる最優秀新人作品賞を受賞。最新作は『プリテンダーズ』(21)、『恋い焦れ歌え』(22)が今春、公開予定。『きみはペット』(CX/17)、『おじさんはカワイイものが好き。』(YTV/20)、『LIAR』(MBS/22)など連続テレビドラマも手掛け、志尊淳らとの自主連続ドラマ企画『三重人格と魔法使い』をSNSで配信するなど精力的に創作活動を行っている。子どもの教育TVプログラムの制作にも多く携わり、活動の領域は幅広い。
https://entertainment.aoi-pro.com/partnership/creators_izuru_kumasaka.html



水野 拓宏(みずの たくひろ Takuhiro MIZUNO) /株式会社アルファコード 代表取締役社長 CEO

1974年生。芝浦工業大学卒。株式会社ドワンゴで数百万人規模のWebサービスのシステム設計を担当。2006年、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)により天才プログラマー/スーパークリエイターに認定。2015年、前身の会社からMBOし「株式会社アルファコード」代表取締役社長CEOを現任。「バーチャル・リアリティ百科 深化するVRの現在と可能性」他、VRに関する寄稿・監修も行っている。
株式会社アルファコード <https://www.alphacode.co.jp/>



●モデレーター

沢井 佳子(さわい よしこ Yoshiko SAWAI) / (一社) 日本子ども成育協会理事 チャイルド・ラボ所長

認知発達支援と視聴覚コンテンツ開発が専門。お茶の水女子大学大学院修了、発達心理学専攻。幼児教育番組『ひらけ! ポンキッキ』(フジテレビ)の心理学スタッフ、お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科研究員(総務省 e! school 研究)、静岡大学情報学部客員教授等を歴任。幼児向けの映像、デジタルアプリケーションの設計、絵本等の教育コンテンツの開発と監修に携わる。『こどもちゃれんじ』(ベネッセ)の「考える力」プログラム監修。幼児教育番組『しまじろうのわお!』(テレビ東京系列)監修(国際エミー賞2016ノミネート、アジアテレビ賞2018、日本賞2019、2021優秀賞等受賞)。編著書に『6歳までの子育て大全』(アチーブメント出版)。日本子ども学会常任理事。人工知能学会「コモンセンスと感情研究会」幹事。
BPO(放送倫理・番組向上機構) 青少年委員会委員。

